

## 〈2020年度長野大学研究助成金による研究報告〉

### (地域・社会貢献研究)

#### 戦後の長野県における映画上映資料の保全と活用： 地域の記憶資源を守るための地域連携型研究

相 川 陽 一\*

森 脇 孝 広\*\*

Yoichi AIKAWA

Takahiro MORIWAKI

### 1. 研究目的

本研究は、戦後の長野県内で展開された地域住民による映画の自主上映活動を対象に、長野県における映画文化の発展を支えた住民活動の展開過程を実証的に解明することを第一の目的とする。そして、文化財指定等を受けることなく、当事者の高齢化によって散逸の危機に瀕している上映資料を保全する手法を、郷土史家や映画館の運営にかかわる実務家とともに開発することを第二の目的とする。具体的には、松本市で1960年代後半に設立された映画の自主上映サークルに関する資料群を主たる調査対象として、資料整理調査会を継続開催するとともに、寄贈者や関係者にインタビュー調査を実施して、長野県における映画文化の地域社会への定着過程を明らかにする。

これらの研究により、縮小を余儀なくされつつも、約100年にわたり存続してきた地域文化としての映画文化の価値を学術言語化し、長期保存に堪え得る保全処理を行った収集資料を地域の記憶資源(resource of public memory)として位置づける視座を設定することができ、他地域をフィールドとした先行する事例研究との比較によって知見の一般化を図ることが可能となる。

### 2. 研究方法と研究計画

本研究の研究期間は3年間である。限られた研究期間で成果を出すため、2つの方法で研究を進めている。第1に、現在、資料整理を進めている資料群を主たる研究対象としている。第2に、現在、資料整理を進めている資料群の内容分析から明らかになった人物や

施設等への訪問調査を行っている。長野県は広大な面積を持ち、長野市、松本市、飯田市をはじめ主要都市が点在しているため、すべての地域を対象にすることは現実的ではない。そのため、現在、研究代表者が寄贈を受け、一部を借用し、研究活用の許可を得ている松本市での上映活動にかかる資料群を対象として絞り込み、これらの資料整理の過程で派生的に生じる問いにアプローチする方法を取る。

本研究に先行する研究活動として、研究代表者は、2018年に、松本市で地域住民による映画の自主上映活動に関する資料調査を行った。この研究活動の過程で、同市で約半世紀にわたって映画の自主上映に取り組み、この過程で作成・収集した多くの資料を自宅で保管していた百瀬範明氏より、段ボール約30箱に及ぶ映画資料の寄贈を受け、共同研究者らとともに資料整理を進めてきた。資料整理の過程で、上記の資料群内から、1968年に設立された地域住民による映画サークル「松本シネクラブ」の機関誌や映画上映に関する書簡などの貴重な資料が多数発見され、本研究につながった。

### 3. 2020年度(初年度)の研究成果

2020年度には、研究代表者らが資料整理を進めている「百瀬範明氏旧蔵資料」(以下「百瀬資料」と略記)の整理をさらに進め、百瀬氏や松本シネクラブ関係者へのインタビューを実施した。そして、現在も松本市内で自主上映を継続する特定非営利活動法人コミュニティシネマ松本CINEMAセレクトへのインタビュー調査を実施した。長野県内での調査に加えて、

関連資料を収蔵する成田空港 空と大地の歴史館への資料調査も行った。

以上の調査は、新型コロナウイルス感染症の流行下で感染防止対策を最優先する方式で行ったため、実施頻度や実施時期は変更を余儀なくされた。また、同感染症に関する緊急事態宣言の発令期間中は調査活動自体を休止せざるを得なかった。このような不利条件のもとではあったが、2020年度の調査からは、「百瀬資料」の基本構造を把握することができ、同資料が映画上映に関わる文書資料(ノンフィルム資料)として代替不可能な価値を有することが明らかになった。

そして、現代史資料として、このような個人資料を保

全する取り組みは国内では盛んであるとはいえない状況にあること、所蔵者の高齢化に伴って、このような個人資料が散逸するリスクが高まっており、資料保存機関や大学による主体的な保全活動の必要があることも明らかになった。さらに、「百瀬資料」は資料形態等が多様であり、近世や近代の資料をモデルにした既存の資料整理の方法をそのまま適用することでは整理が困難であることから、現代史資料の整理論としても本研究を展開できる可能性があることが明らかになった。

以上の研究成果を日本映像学会第46回大会シンポジウムでの招待報告で発表し、学術論文を発表した。

## 研究発表(2020年度の研究成果)

(雑誌論文) 計( 1 )件

著 者 名	論 文 標 題				
相 川 陽 一・ 森 脇 孝 広	戦後日本における記録映画の上映運動に関する資料収集と整理について： 松本市における小川プロダクション作品の上映運動を中心に				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の頁	
記録と史料	査読あり	31	2 0 2 1	16-29	

(学会発表) 計( 1 )件

発 表 者 名	論 文 標 題		
相 川 陽 一	地域における記録映画アーカイブズの構築実践 ー小川プロダクション関連資料の収集と整理を中心にー		
学 会 等 名	発表年月日	発表場所	
2020年 日本映像学会大会シンポジウム 「映像アーカイブの実践と未来」(招待あり)	2020年9月26日	関西大学 オンライン開催	